

# 子どももスマホ、どう付き合う？



どんな危険が潜んでいるか  
分かりますか？

## 相手も自分も大切にできる ネット利用を

七尾人権擁護委員協議会  
人権擁護委員 坂口 初男

現代人の生活の一部となりつつあるスマートフォン(以下スマホ)。内閣府の「平成29年度青少年のインターネット利用調査」によると、小学生は約5割、中学生は約7割、高校生は9割以上がスマホや携帯電話を所有し、日常的に利用していることが分かりました。スマホを子どもに持たせることで、子どもの居場所がすぐに分かり、いつでも連絡できるため便利で安心である一方、子どもが有害情報にアクセスしたり、使い過ぎやコミュニケーションのトラブルに巻き込まれたりする危険性も高まります。

学校では、安全な利用方法を学ぶ教室の開催や親子で話し合う機会を設けて、家族で使い方のルールを決めるよう呼び掛けています。子どもを守るために、どのようにスマホと付き合えば良いのか。家庭でも話し合いの場を設け、親世代もスマホやインターネット利用を見直してみませんか。

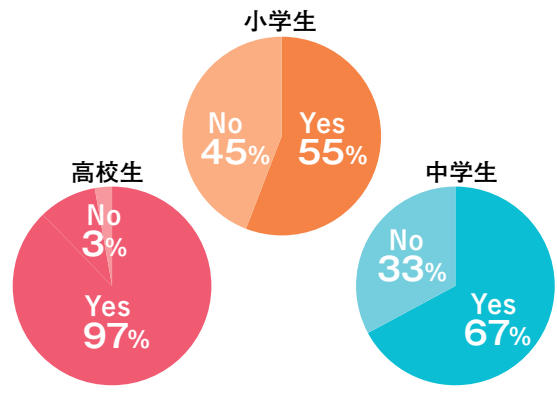


LINE(ライン)…利用者間で無料で通話やメッセージが送れるアプリの一つ。世界の利用者数が5億人を超える。  
SNS…ソーシャルネットワーク・サービスの略で、インターネット上での交流を通じて社会的ネットワークを構築できるサービス。代表的なものにFacebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)など。

## 10代のスマホ利用 状況を知ろう

～平成29年度青少年のインターネット利用  
環境実態調査(内閣府調べ)から～  
※全国の小中学生、高校生、約3,300人を対象

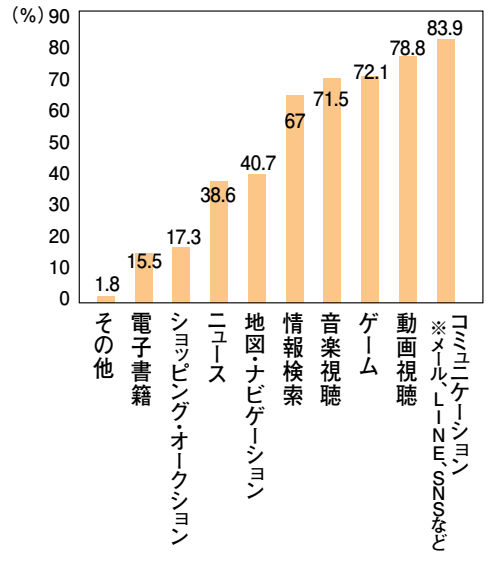
Q1 スマホ、携帯電話を持っていますか？



Q2 平日1日当たりのスマホを使ったインターネットの利用時間は？



Q3 スマホを何に利用していますか？(複数回答可)



## わが家はこんなルールです

① 高校3年生、中学1年生の娘を持つ山岸充さん  
長女は高校1年の時からスマホを持っています。主にゲームや動画を見るために使っていますが、スマホを使い過ぎるということがないので、親が預かることはありません。中学生の次女とは今のうちから自分の部屋にスマホを持ち込まないこと、LINEのグループに入るときは報告することなどのルールを共有しています。



② 市内の高校に通う坂口凌汰朗さん(2年生)  
高校の入学が決まってスマホを買ってもらいました。使うときは音楽を聴いたりSNSやゲームをしたりすることが多いです。親とはSNSに投稿する写真は場所を特定されないよう背景に注意すること、ゲームの課金や有料コンテンツは利用しないことを約束しています。



「わが家ルール」を決めましょう  
スマホや携帯電話を子どもに渡すときは、安全な利用のための注意点を教えるとともに「なぜスマホが必要なのか」「どんな場面で使うのか」を親子で共有し、ルールを決める必要があります。学年や年齢だけで判断するのではなく、子どもの発達や性格、趣味、外出パターンや利用する場面など一人一人異なる条件や家庭の状況に合わせて決めることが安全利用の第一歩です。  
市内の高校では勉強時間を確保できるよう、家庭でのスマホの利用時間を毎日学校に報告したり、保護者と生徒がネットマナーを話し合ったりしているところがあります。家庭でも正しく安全な使い方ができているか継続的に見守りながら、子どもの成長と必要性に合わせてルールを見直していきましょう。